

# 新工ネ ←最前線→

# 藻からバイオ燃料

植物や藻類が持つ「バイオの力」が見直されています。木材やプラスチック、油、洋服、食べ物など、生活に必要な多くの物の基となる「有機物」を、空気と水から作れるからです。太陽光パネルや風車ではどんなに頑張ってもまねできない力を、暮らしに生かす研究が進んでいます。

## 商品化へコスト削減挑戦

バシヤン、バシヤン——。高さ1メートルほどの水車が、モスグリーンの水をかき回していた。

「この緑の水1ミリットルに、藻類の細胞1億5千万個が生きています」

長さ約70センチ、水深20センチほどの、流れるプールのような楕円の培養池の前で、スノーブシヤパンの原芳道社長(72)が説明した。

仙台空港から北へ車で約2時間。宮城県石巻市の牡鹿半島にある同社の実験場では、およそ1畝の敷地に大小7個の培養池が並ぶ。1月1日、2013年から藻類

のナンノクロコ、二酸化炭素、体重の3割をもち藻類を育てる。原社長は「藻類を育てるには、光とCO2を供給する必要がある」と自負を語った。

きっかけは、ナンノクロコ「いと、イース」さんと相談が、日射量が多く



油を生み出す藻類の培養池。水車が回転して光合成を促進する。宮城県石巻市

産油研究遅れ

グジャパン  
石巻市  
コブシス  
くば市  
コッカス  
ンチ  
ウム  
G Algae  
社  
川崎市  
オッカス